

地球温暖化防止対策

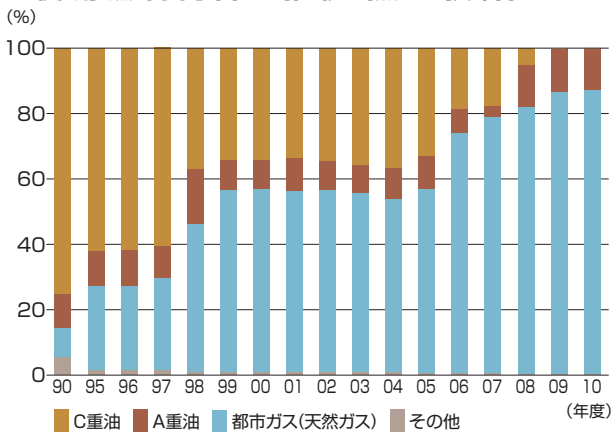
二酸化炭素排出量の少ない燃料への転換などを推進し、地球温暖化防止に取り組んでいます。

重油から都市ガス(天然ガス)への転換を推進

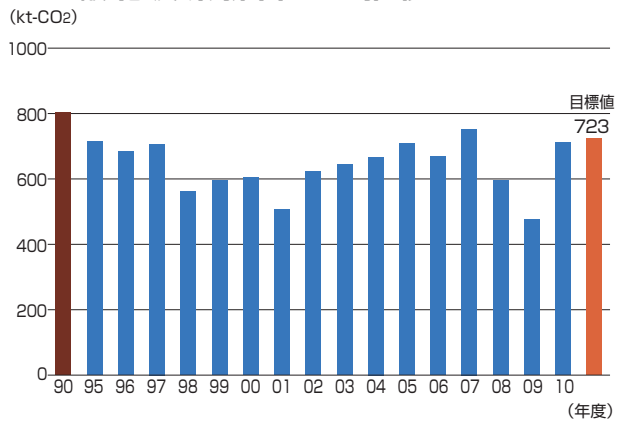
2010年度の二酸化炭素(CO₂)排出量を1990年度比10%の削減を目標にしており、重油の都市ガス(天然ガス)化を積極的に推進しています。

都市ガス(天然ガス)は重油に比べ、環境負荷が小さいのが大きな特長です。使用燃料の割合では、2010年度の都市ガス(天然ガス)の使用比率は87%です。2010年度のCO₂の排出量は、生産量が大幅に増加しましたが1990年度比で10%減で、目標を達成しました。

● 使用燃料割合の推移(熱量換算)



● 二酸化炭素排出量の推移



低炭素社会について講演会を実施

世界的に進展しつつも多くの議論を呼んでいるのが低炭素社会です。山陽特殊製鋼文化振興財団は、2010年6月、講師に(財)地球環境産業技術研究機構副理事長兼研究所長の茅陽一氏をお招きし、「低炭素社会への道」と題する講演会を開催しました。



CO₂排出量削減を目標にした制度を活用

当社は、環境省「京都議定書目標達成特別支援無利子融資(利子補給)制度」を活用したシンジケート・ローン契約を締結しています。この制度は、一定期間内にCO₂排出原単位の改善、またはCO₂排出総量の削減を誓約し、達成することを条件として、設備投資への融資について3年以内の期間(貸付の償還期間を上限)3%を限度(無利子相当を上限)として利子補給を受けられるというものです。

電気自動車を社用車に利用

当社では、従来からCO₂削減に向けて自主行動計画を定めるなど、環境保全への取り組みを進めています。その一環として、地球環境に優しい電気自動車を社用車に利用しています。



緑化の推進

当社では、CO₂を吸収する“緑のフィルター”としての機能が期待できる、工場内外の緑化に取り組んでいます。2010年度も本社工場敷地境界等に緑地を新たに造成しました。



本社工場敷地境界の緑地